

県民・企業・団体の皆様へ

愛媛県の将来推計人口について

県では、4年前、2060年の県内人口が約78万人まで減少するという将来推計を公表するとともに、2060年の100万人確保を目指して「えひめ人口減少対策重点戦略」を策定し、2026年までの目標として「転出超過の解消」と「出生数8,500人」という二つの目標を掲げて、皆様のご協力をいただきながら、オール愛媛の対策に取り組んでまいりました。

この二つの目標は、コロナ禍の地方回帰の流れがコロナ後も継続するとともに、コロナ禍で落ち込んだ出生数はコロナ後に回復するのではないかという想定の下、相当高い目標として設定しておりましたが、現実のアフターコロナは、残念ながら期待していた姿とはならず、東京一極集中による都市部への人の流れが再び拡大するとともに、全国の出生数も急激に減少し過去最低を更新しました。

本県においても、若者を中心とした転出超過の拡大と出生数の減少が続いたことから、こうした厳しい現状を踏まえた新たな対策に、できる限り早く着手する必要があると判断し、このたび本県の将来人口の再推計を行いました。

その結果、2060年の本県の推計人口は、約65万6千人まで減少するという非常に厳しい見通しとなりました。

本県の人口減少は、想定を超えるスピードで進んでいますが、県民の皆様と共に力を結集して取り組むことで、できることはまだまだあるのではないかと思っています。

県民の皆様、お一人お一人が、愛媛県の未来のために、地域の未来のために、ご自身に何ができるのかを考え、行動していただくこと、また、愛媛県の未来を担う若者を、今を生きる全世代が全力で応援するという、皆様の優しい思いや親切な行動、こうした小さな一歩の積み重ねが、何よりも大きな力になります。

人口減少対策の取組は、決して特定の誰かのためだけのものではなく、全ての県民の皆様が、将来にわたって安心・安全に暮らしていくために必要な取組です。

20年後、30年後の愛媛が、今以上に人を惹きつける魅力あふれる県となっているように、私自身、先頭に立って全力で挑んでまいりますので、まずは今回の結果を冷静に受け止めていただくとともに、どうか皆様方のお力を貸していただき、一緒に愛媛の未来を切り開いていただけようお願いいたします。

令和8年1月28日

愛媛県知事 中村 時広